

後援会長挨拶

試練をスパイラルアップに!

本年度の後援会会長を仰せつかりました土屋です。

保護者並びに大学関係者の皆様には、日頃より後援会活動へのご理解、ご支援を頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。

昨年のは挨拶では、大学の創立90周年及び後援会も平成の時代を駆け抜け31年目を迎え、令和の時代に沿った改革を目指し次の10年に向かい櫂を繋いで行くことを話しました。しかし昨年の世田谷キャンパスでの水害による大学機能の損失後、大学関係者の皆様には多大なご尽力を頂き、授業の再開後、入試・卒業式等を遅延なく実施して頂きました。更に構内設備の復旧作業の収束に向かっていった最中でのコロナ禍で、再び大学内が大混乱に陥りました。この情勢下で教育現場の機能を守るべく、日夜問わずご尽力頂き改めて感謝申し上げます。

本来なら学生の皆さんは、新たな気持ちで新学年の生活が始まるどころでしたが、キャンパスへの入構制限があり、メディア授業での開始になりました。対面授業・実験・研究及びクラブ活動等、本来の学生活動・生活が停滞状況に陥っています。これほどの試練は嘗てないかと思います。しかしこの現状から逃避することなく、新たな学修・生活方法と捉え、メディア授業のプラス面を最大限活用し、知識・教養の向上を図ってください。

私の周りでも、テレワークでの在宅勤務、各種団体の評議会・総会及び企業での講習会・会議体が書面決議や縮小開催・中止・延期となり、状況が一変しました。しかし業務停滞は企業の存続に関わりますので、状況に合わせた改革をしていかなければなりません。一気に働き方改革が押寄せた状態です。この試練を糧として正常な環境に戻った際には、学生生活を思い切りエンジョイしてください。産業界の求める人材は、柔軟な感性を持った人材ですので、この経験や得た知識が必ず生かされるはずで

す。後援会としても学生の皆さんの環境改善には、最大限支援して参りますので、保護者・大学関係者の皆様から忌憚のないご意見等を頂ければ幸いです。1日でも早い日常生活に戻りますよう祈念して挨拶とさせていただきます。



東京都市大学後援会 2020年度会長 **土屋 良直**